

令和8年度 公立小松大学入学者選抜試験
一般選抜（前期日程）試験問題

小論文

【国際文化交流学部】

国際文化交流学科

（注意事項）

- 1 問題用紙は指示があるまで開かないでください。
- 2 問題用紙は本文4ページです。答案用紙は2枚です。
- 3 答案用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 答えはすべて答案用紙の指定のところに、横書きで記入してください。
- 5 アルファベットや数字は、1マスに1字で記入してください。
- 6 字数制限のある解答については、句読点を1字と数えてください。
- 7 試験終了後、問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

I. 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

ダイバーシティ推進が社会問題解決のために求められている。ダイバーシティ（多様性）とは、年齢、人種／民族、宗教、学歴、セクシュアリティ／ジェンダー、障がいの有無などにおいて生じる様々な違いを意味する。互いを尊重する社会を実現することによって、一人ひとりの活躍が実現し、日本社会の成熟や発展を目指すことが可能になる。しかししばしば指摘されてきたように、これまで日本社会は「単一民族志向」的であると考えられてきた通り、ダイバーシティに慣れていないために、海外諸国に比べると、日本における推進には様々な困難があるといえるだろう。それではどうしたらよいか。

私はこれまで、社会の中で見えなくなっている人びとについて、「沈黙」をキーワードにして文化人類学的な研究を行ってきた。複数の民族や人種の出自を持つ人びとや、セクシュアリティ／ジェンダーにおいて既存のカテゴリーに違和感を覚える人、目には見えないような病や障がいを持つ人びと、など様々な人びとに出会い研究を行ってきた。

そこで明らかになったことは、多数派は自分の特権性に気が付くことができないために(A)無色透明であり、少数派は一つのイメージを押し付けられたり、多数派が望むイメージを自ら演じてしまったりするために、単色に塗りつぶされてしまうということだった。例えば、私は車いすを使わないので、毎日階段や段差を気にせずに出かけることができる。投票権があるので、選挙があれば当たり前のように投票できる。そして異性愛者なので、周りの目を気にせずに好きな人の話ができる。

しかし、それができない人びとが私たちの社会にはたくさんいる。私がそうしたことを気にせずにできるのは、それぞれの状況において特権性を持っているからである。特権性は、そこから疎外されている人びとの存在を知ること、初めて気付くことができる。私自身、それぞれの当事者に私が持つ特権性について教えてもらった。特権性の無自覚とは、無色透明でいられることである。

一方で、「マイノリティー」や「当事者」はイメージが一元化しやすく、固定したイメージを押し付けられがちだ。そして多くの場合、マイノリティーとして声を上げる時に団結するために、マイノリティー自身が固定化したイメージを体現してしまう。単色であることを押し付けられ、それを演じてしまうこともあるだろう。しかし、本来、特権性を持つ人も、特権性から疎外される人も、人間は一人ひとりがそれぞれの彩りを持

つ存在だ。無色透明でも単色でもないはずだ。自分の彩りを大切にできない人は、他の人の彩りも大切にすることができない。日本社会の行き詰まりは、それぞれの人間が本来持っているはずの「彩り」を大切にできないことにあるのではなかろうか。

(B)誰もが特権性を持ち、誰もが何らかのかたちで疎外されている。疎外されていてしんどい、ということを誰もが当たり前に言えるようになるためには、それぞれの特権性と疎外を適切に把握することが大切だと考える。ジェンダーにおける公平性の実現も含め、ダイバーシティを推進することで、社会がより発展できるという複数の統計もあるし、日本では、政府がダイバーシティ推進やジェンダー平等達成のための目標を掲げている。(C)一人ひとりが尊重される社会の実現に向けて重要なのは、一人ひとりの彩りの回復と、特権性の自覚ではなかろうか。

出典：石原真衣「尊重しあえる社会の実現には 個人が持つ彩り大切に」

朝日新聞 2023年6月14日 夕刊

- [問1] 下線部(A)「無色透明」という表現は、どのような人々のどのような状態を指しているか。本文の内容に即して 50 字以内で説明しなさい。
- [問2] 下線部(B)「誰もが特権性を持ち、誰もが何らかのかたちで疎外されている」と筆者は述べている。この認識を持つことで、どのような社会が実現できると筆者は考えているか。本文の内容に即して 100 字以内で説明しなさい。
- [問3] 下線部(C)「一人ひとりが尊重される社会」を実現するために必要なことについて、筆者の主張を踏まえ、あなた自身の経験や見聞きした社会的事例などに触れながら、300 字以内で論じなさい。

II. 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

There is a global displacement crisis. Around the world, over sixty-five million people—more than at any time since the Second World War—are displaced from their homes by conflict and human rights violations. Nearly a third of them are refugees who have been forced to cross an international border in search of protection. Meanwhile, the causes of displacement are diversifying, with environmental change, state fragility, and water insecurity predicted to become significant contributing factors. Yet, alongside this trend of rising numbers, governments' political willingness to provide access to protection and assistance is in decline. From European countries' attempts to prevent boats from crossing the Mediterranean, to policies adopted in Australia, Kenya, and the Middle East, a growing number of countries are closing their borders to refugees.

In the face of these challenges, the existing global refugee regime is no longer fit for purpose. Created in the aftermath of the Second World War, the existing United Nations architecture continues to view refugees and displacement as a predominantly humanitarian issue. When people have to leave their homes or cross borders, the conventional international response is to meet their immediate needs in terms of food, shelter, clothing, water, and sanitation. For nearly 90 per cent of the world's refugees, this takes place in countries that neighbour the country of origin, and frequently within refugee camps in remote border locations. This approach is broadly effective for providing emergency relief during the onset of a crisis. However, in the long run, it can—and frequently does—lead to dependency.

(中略)

The most obvious solutions to this humanitarian tragedy are political solutions. These rely upon the international community collectively 'doing better' to end conflicts, overcome authoritarian regimes, and reduce state fragility. Addressing these 'root causes' would be the 'first best solution' to resolve protracted refugee situations. However, it would also require serious engagement by the UN Security Council in the areas of conflict resolution, peacebuilding, and post-conflict reconstruction, in ways that are politically elusive.

Failing this, the authors' starting point is the belief that self-reliance offers the most viable way to address the negative consequences of protracted refugee situations. Even in the absence of durable solutions, empowering refugees to help themselves by giving access to the right to work, freedom of movement, and creating an enabling environment for independent economic

activity can offer a better path to dignified and autonomous living than the status quo. Done well, such approaches have the potential simultaneously to benefit refugees, host communities, host governments, and donor governments.

注

displacement : 強制移動

politically elusive : 政治的に実現の難しい

global refugee regime : 国際難民レジーム
(難民支援のための国際制度)

self-reliance : 自立

durable : 永続的な

predominantly : 主に

autonomous : 自立した

the onset of : ~の始まり

status quo : 現状維持

authoritarian regime : 権威主義体制

出典 : Betts, Alexander, Louise Bloom, Josiah Kaplan, and Naohiko Omata. 2017. *Refugee Economies: Forced Displacement and Development*. Oxford: Oxford University Press, pp. 1-5.

(注 : 文中に登場する数字は 2017 年当時のものである。)

[問 1] 近年、世界の難民の数はますます増加傾向にあり、彼らに対する支援が国際社会全体の課題となっている。これについて、筆者は既存の国際難民支援制度をどのように評価しているか、文章に即して 200 字以内の日本語で書きなさい。

[問 2] 難民問題の解決のためには、筆者は政治的側面での解決だけでなく、難民の自立が重要であると主張している。この筆者の主張をふまえながら、これからの国際難民支援制度に必要なと思う視点や政策について、あなた自身の考えを 400 字以内の日本語で書きなさい。